



『カウパップ・タウンオーク』第9号表紙  
表紙も、軍人や兵器より、女性の写真が多く用いられています。



『新しい国防服』(第9号)  
「国防服」もおしゃれに着こなせるかな？



『早くできる化粧』(第9号)  
戦時下、化粧も手早く効果的に！周囲の広告にも注目！

## 戦時下日本のタイ向け プロパガンダ雑誌

### 『カウパップ・タウンオーク』

日本は、「大東亜共栄圏」各地の人々の対日感情を好転させ、日本の影響力を強めるため、様々なプロパガンダを展開しました。その一つが、対外プロパガンダ雑誌の出版です。戦時下の状況のなか、日本国内では既に多くの物資が不足し、雑誌の発行も強い統制を受けた時代でしたが、対外プロパガンダ雑誌は当時の日本を代表する写真家やデザイナー、宣伝専門家を動員し、優先的に資源を分配されて大判の豪華グラフ誌として作成され、「大東亜共栄圏」各地に送られました。しかし、海外向けのこうした雑誌は、国内にはほとんど残らず、また現地においても放置されたり処分されたりしたため、現物が確認できないものが多いのです。

実は愛知大学は、2012年からの科学研究費補助金によるプロジェクトにより、このような対外プロパガンダ雑誌をコレクションする一大拠点となりつつあります。ここで紹介するのは、その一部をなす貴重書で、タイ向けのプロパガンダ雑誌である『カウパップ・タウンオーク（東亜画報）』です。複数の号がまとめて所蔵されているのは、世界でも、日本カメラ博物館、国立国会図書館、そして愛知大学図書館の3館に限られています。

『カウパップ・タウンオーク』は、内閣情報局の影響下において、国際報道工芸（のちに国際報道）によって、1941年12月からほぼ月刊で26号まで発行された、B4判の豪華グラフ誌でした。「大東亜」戦争下の日本が、誰に向かって、どのような面を強調して、自国を宣伝しようとしていたのかを物語る、興味深い資料です。さて、皆さんは、戦時中に日本が外国に宣伝したかったことは何だと想像しますか？日本の軍事力でしょうか？実は『カウパップ・タウンオーク』には、軍事力を誇示するような写真や記事もありますが、「การแต่งหน้าหายาก เดคิล เคช็อง (早くできる化粧)」や「เสื้อแบบนิยมของสตรียมนาโน リウカウフク (女の流行服)」といった、女性用のファッションに関する記事も多いのです。軍事力の誇示よりも、女性のファッション的な憧れに訴えかける方が効果的だと考えたのでしょうね。

なお、様々な事情により、科学研究費補助金による当該プロジェクトによって愛知大学に収集されている対外プロパガンダ雑誌は、図書館のほか、国際問題研究所や加納研究室の管理下にあるものもあります。将来的には図書館による一括管理が望まれるところですが、これらの貴重書は愛知大学特別重点研究助成によるデジタル化の対象にもなっているので、近く世界中からインターネット経由で閲覧できるようになり、その範囲も拡大していく予定です。愛知大学が、将来の平和のために、戦時下日本の対外プロパガンダ研究に貢献し続けていくことを願う次第です。